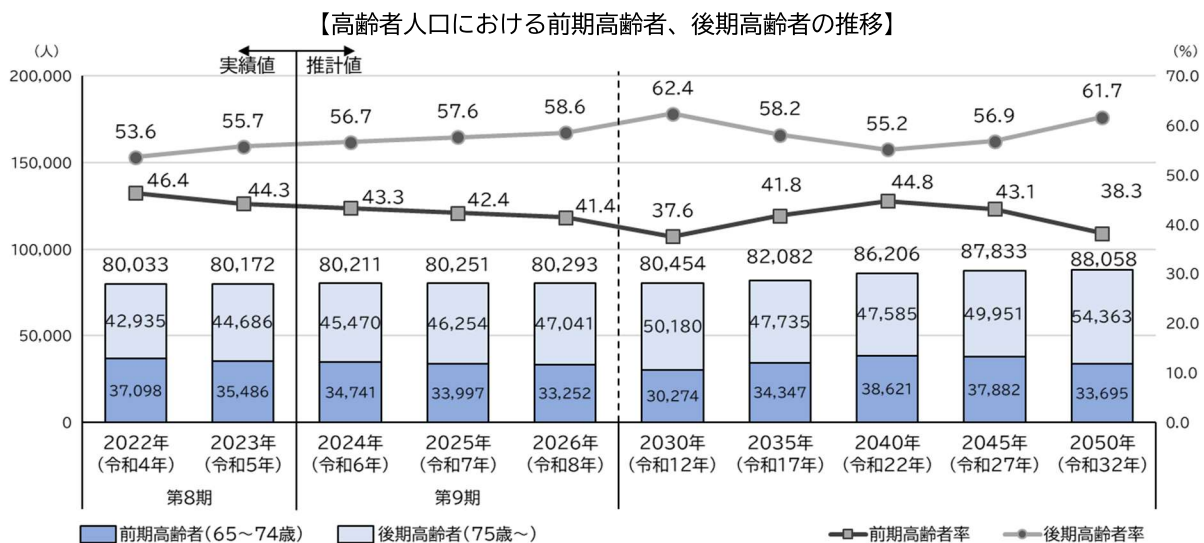
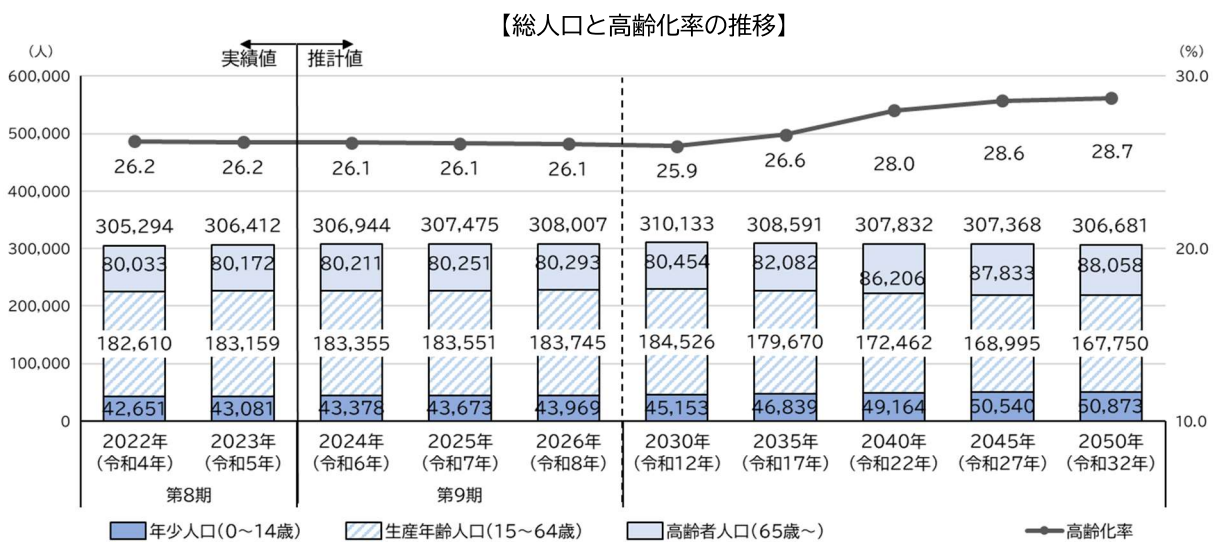


人口、認定者数の将来推計について

1. 人口の推計

2023年（令和5年）8月1日現在、総人口が306,412人、高齢者人口（65歳以上）は80,172人で、高齢化率が26.2%となっています。総人口は、2030年（令和12年）まで増加し、2035年（令和17年）には減少局面に転じると推計される一方、高齢者人口は、2050年（令和32年）まで増加し、高齢化率は28.7%となる見込みです。

また、高齢者人口に占める前期高齢者は44.3%、後期高齢者は55.7%となっています。後期高齢者割合は今後も上昇し、2030年（令和12年）にはピークを迎え62.4%となる見込みです。



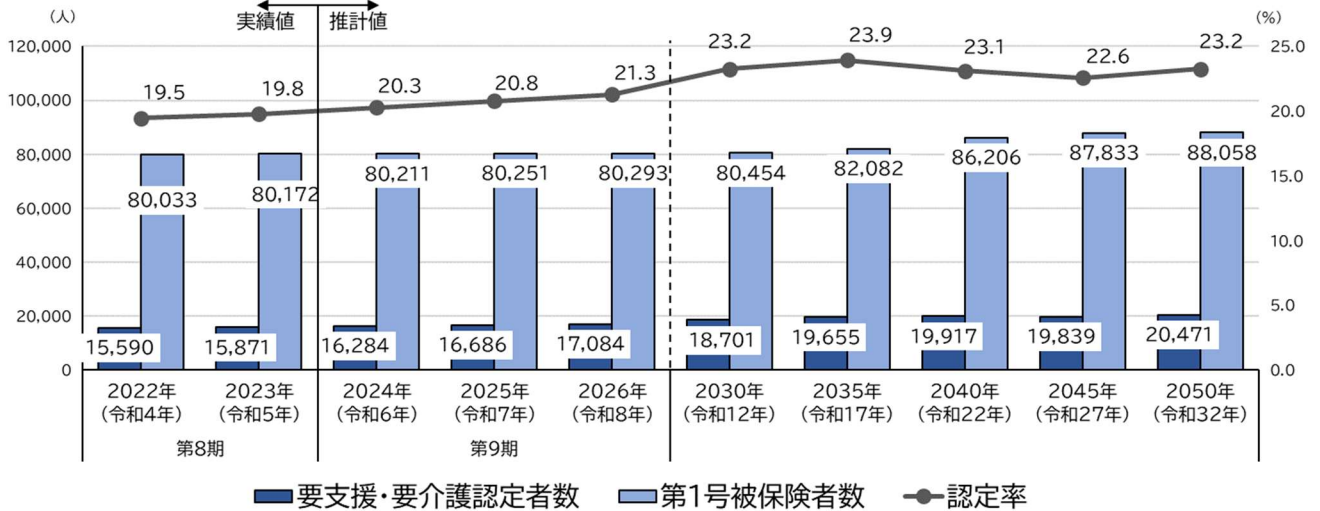
※ 2023年（令和5年）8月1日住民基本台帳人口に基づきコーホート要因法で推計

※ 「コーホート要因法」は、同年に出生した集団（コーホート）の「自然増減」（出生と死亡）及び「純移動」（転出入）という二つの「人口変動要因」それぞれについて将来値を仮定し、それに基づいて将来人口を推計する方法

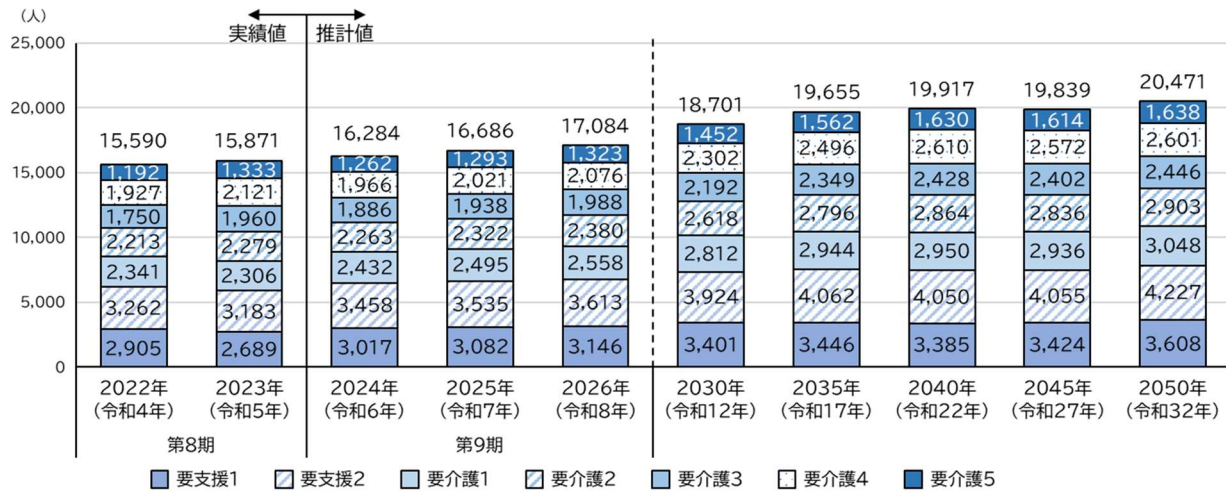
2. 要支援・要介護認定者数の推計

要支援・要介護認定者数は、高齢者人口の増加に伴って2050年（令和32年）まで継続して増加する見込みです。認定率は、本計画期間中（2024年～2026年）は20～21%で推移し、後期高齢者が一段と増加する2030年（令和12年）以降には23%を超える推計となっています。

【第1号被保険者における認定者数及び認定率】



【第1号被保険者の要介護認定者における要介護度別人数】



※ 2023年（令和5年）8月1日住民基本台帳人口に基づきコーホート要因法による性・年齢別（5歳刻み）人口推計に、性・年齢別（5歳刻み）認定率（2020年～2022年の各年9月末の認定率の平均値から算出）を乗じて推計